

指導資料



鹿児島県総合教育センター

社会 第116号

- 小学校，中学校，特別支援学校対象 -

平成23年4月発行

思考力・判断力・表現力等を育成する社会科学学習指導の工夫 - 言語活動の充実を通して -

平成20年1月，中央教育審議会は，「幼稚園，小学校，中学校，高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について（答申）」の中で，「子どもたちの思考力・判断力・表現力等を確実にはぐくむために，まず，各教科の指導の中で，基礎的・基本的な知識・技能の習得とともに，観察・実験やレポートの作成，論述といったそれぞれの教科の知識・技能を活用する学習活動を充実させることを重視する必要がある。」と述べている。また，同答申を踏まえた平成20年3月告示の学習指導要領（以下新学習指導要領）では，このような学習活動の基盤をなすのは，言語能力であるととらえ，その育成のための言語活動の充実を求めている。

そこで，本稿では，思考力・判断力・表現力等を育成する社会科学学習指導の工夫について，言語活動の充実という視点から具体的な授業展開を示しながら述べる。

1 社会科に求められる思考力・判断力・表現力等

「社会科に求められる思考力・判断力・表現力等」とは，社会事象から課題を見いだし，社会事象の意味や意義，事象の特色

や事象間の関連を多面的・多角的に考察し，公正に判断したことを適切に表現できる力と考えられる。そして，それらの力は，一つ一つ切り離して考えるのではなく関連する能力として，総合的にとらえ，育成していくことが大切である。

2 社会科における言語活動の充実のとらえ方

これまでの社会科学学習においても，各種の資料に基づいて社会的事象を考察したり，観察や調査などを通して追究した過程や結果を整理しまとめたりするなどの学習活動を行ってきた。したがって，その成果の積み上げを基に，これまでの社会科の指導を振り返り，言語活動の充実の視点を明確にして系統的，計画的に授業を構想していくことが，社会科における言語活動の充実につながる。ここでは，言語活動の充実を図る視点として，次の4点を挙げる。

(1) 社会科における四つの言語活動の明確化

図1は，平成20年1月の中央教育審議会答申を踏まえ，社会科における言語活動を「読み取り」「解釈」「説明」「論述」の四つに整理し，具体例（小学校第5学年の「我が国の農業」）を示したものである。

「読み取り」... 社会的事象に関する事実を調査・見学や地図、統計など各種の資料等を基に読み取る活動

- 資料から必要な情報を読み取る。
- 資料に表されている事柄の全体的な傾向をとらえる。 など

<具体例>

「全国の米の生産量」を示した資料から、北海道や新潟県などでは、米の生産量が多いという事実を読み取る活動など

「解釈」... 社会的事象のもつ特色や意味、意義について各種の資料等を基に考察する活動

- 資料から読み取ったデータを分析する。
- 資料を基に様々な社会的事象のもつ意味や意義を考察する。 など

<具体例>

「主な農業機械の広まり」や「土地改良の前と後の様子」「品種別収穫量の割合」の資料等を基に、稲作農家がどのような米作りの努力をしているか考察する活動 など

「説明」... 社会的事象の特色や事象間の関連を各種の資料等を基に考察し、表現する活動

- 社会的事象の特色を他の事象と比較したり、諸資料等を基にして考察し、表現する。
- 社会的事象の関連について、因果関係や目的と手段の関係などから考察し、説明する。 など

<具体例>

「日本人の食生活の変化」や「米の生産量と消費量の変化」などの資料を基に、日本の米の生産量や消費量が減少傾向にある理由について考察し、説明する活動 など

「論述」... 社会的事象について自分なりの考えを各種の資料等を根拠に表現する活動

- 考えたことを自分の言葉でまとめる。
- 自分が考えたことを伝え合うことにより、互いの考えを深めていく。 など

<具体例>

今後、日本の食料自給率を高めるにはどうしたらよいか、諸資料等を根拠に自分の考えを表現する活動 など

図 1 四つの言語活動と具体例

(2) 系統性を踏まえた指導

「思考力・判断力・表現力等」を育成していくためには、長期的な視点から、校種間や学年間の系統性を踏まえて指導することが重要である。その際、単元において育てたい力（思考力・判断力・表現力等）を明らかにし、充

実させたい言語活動を意識して指導をすることが大切である。

表 1 は、育てたい力（思考力・判断力・表現力等）と充実させたい言語活動例を明記した「気候」に関する学習の指導内容系統表である。

表 1 「気候」に関する学習の指導内容系統表

項目	小学校	中学校	高等学校
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の国土の自然などの様子について、地図その他の資料を活用して調べ、国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界的視野から見て日本は環太平洋造山帯に属し大地の動きが活発であること、温帯の島国(後略) 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の地形、気候、植生などから系統的にとらえる視点や方法を学習するのに適切な事(後略)
基礎・本知識	<ul style="list-style-type: none"> 梅雨や台風は、飲み水や農業などに欠かせない恵みの雨をもたらすが、洪水や土砂崩れなどの災害を引き起こすこともある。 夏は、気温(後略) 	<ul style="list-style-type: none"> 夏前に、日本列島に前線が停滞し梅雨になる。 夏から秋にかけて台風(後略) 	<ul style="list-style-type: none"> 初夏にはオホーツク海気団と小笠原気団との間にできた梅雨前線帯が日本列島付(後略)
充実させたい言語活動例	<ul style="list-style-type: none"> 日本の南と北では気候にどのような特色が見られるのか、また気候と人々の生活や産業との関連についてまとめ、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 気候において地域差が見られることを諸資料を基に読み取るとともに(後略) 	<ul style="list-style-type: none"> ケッペンの気候区分等の諸資料を基に、世界の気候の特色についてまと(後略)
育てたい力	<ul style="list-style-type: none"> 我が国は南と北とでは気候に大きな違いがあり、人々の暮らし方にも違いがみられるといったことについて多面的に考察することができる。 我が国の南と北の気候の特色に関する各種の基礎的資料を活用して調べ、気候の特色や人々の暮らし方について違いがみられるといったことを分かりやすく表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の気候の特色と日本の気候の特色について多面的に考察することができる。 世界の気や日本の気候の特色などに関する様々な資料を収集し、適切に選択・活用して調べ(後略) 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の気候の特色について、気温と降水量の分布や地球規模でみた海流に焦点をあて多面的・多角的に考察できる。 世界や日本の気候の特色に関する様々な資料を収集し、適切に選択・活用(後略)

(3) 言語活動の指導計画への位置付け

育てたい力（思考力・判断力・表現力等）を育成するためには、1 単位時間だけではなく、単元全体を通して、社会科における四つの言語活動を踏まえながら計画的に取り組むことが大切である。また、社会科の授業においては、社会の変化に主体的に対応できる能力や態度を育成することが重要視され、問題（課題）解決的な学習の一層の充

実が求められている。そこで、ここでは一例としてジグソーメソッド（児童生徒がジグソーグループと追究の柱別グループの両方のグループに所属し、それぞれのグループ内での交流を通して課題等を解決する学習方法）を組み込んだ問題（課題）解決的な学習を目指した単元の指導計画例を示す（表2）。

表2 単元の指導計画例

過程	主な活動内容	指導上の留意点 ～充実させたい言語活動～
つかむ	1 学習課題(単元を貫く)を立てる。	1 諸資料を読み取り、問題意識をもたせる。 【読み取り】
	2 学習課題に対する予想を立てる。	2 既習の知識、概念や技能を基に予想させる。【解釈】 <ジグソーグループの編成>
	3 学習課題を解決するための追究の柱を立てる。	3 学習課題の解決に迫るような追究の柱を考えさせる。 【解釈】【説明】
調べる	4 追究の柱について調べる。	4 調べ方等を話し合わせた後、一人調べをさせ、調べたことを基に分析・考察し自分の考えを深めさせる。 【読み取り】【解釈】
	5 追究した結果について説明する。	5 追究の柱別グループ内で説明及び評価をさせる。 【説明】 <追究の柱別グループの編成>
まとめる・広げる	6 追究したことをまとめる。	6 評価を基に説明内容を改善し、追究の柱別グループでまとめさせる。【解釈】
	7 学習課題の解決を図る。	7 追究の柱別グループでまとめたことを基に、各ジグソーグループで討論等をさせ、学習課題の解決を図らせる。 【説明】【解釈】
	8 学習課題に対する自分の考えをまとめ発表する。	8 討論等を基に自分の考えをまとめ、発表させる。 【説明】【論述】
	9 実践化や生活化を図る。	9 学習の成果の実践化や生活化を図らせる。

(4) 授業における言語活動の工夫・改善

言語活動を一層充実させるためには、四つの言語活動を基にした学習指導の工夫・改善に取り組むことが大切である（表3）。中でも、平成21年10月に実施した「言語活動の取組に関する実態調査」から本県の現状を踏まえると、事象間の関連性について表現したり、自分の考えを深めたりするなどの言語

活動を充実させる必要がある。例えば「説明」では、社会的事象を比較することで明らかになった特色や因果関係などから考察したことを表現させたり、「論述」では、自分なりの考えを未来予測や価値判断の観点から表現させたりすることなどが考えられる。

表3 言語活動の工夫・改善の例

言語活動	充実させるための工夫	
読み取り	資料活用	・ 疑問を感じたり、課題を発見できる資料を提示する。 ・ 資料の見方（資料の輪郭、内容、内容分析）を学習させる。
	表現 発問	・ 読み取りの視点を示したワークシートを工夫し、表現させる。 ・ 「どのようなことが読み取れますか。」
解釈	資料活用	・ 自分の考えの根拠となる事実を見付けさせる。
	表現 発問	・ 社会的事象のもつ意味や意義を記述させるワークシートを工夫し、表現させる。 ・ 「どのようなことが考えられますか。」
説明	資料活用	・ 課題解決のための根拠となる資料を子どもに収集・選択させる。 ・ 社会的事象の特色や関連などについて思考を深めさせたり、視点を変えさせたりできるような資料を提示する。
	表現	・ 社会的事象の特色を他の事象と比較し考察したことを表現させる。 ・ 社会的事象の関連について、因果関係や目的と手段の関係などから考察したことを表現させる。 ・ データからグラフを作成させ、関係を確認させる。
	発問	・ 「なぜこのようになっていると思いますか。」
論述	資料活用	・ 社会的事象に関する自分の考えを表現するための根拠になるような資料を収集・選択させる。また、活用した資料は適切であったか、活用の仕方は効果的であったかなど次への生かし方を考えさせる。
	表現	・ 社会的事象に関する自分の考えについて諸資料等を根拠に表現させる。（単元の学習のまとめや価値判断を求める学習等で行わせる。）
	発問	・ 「このことについてどのように考えますか。」

3 言語活動の充実を図った実践例

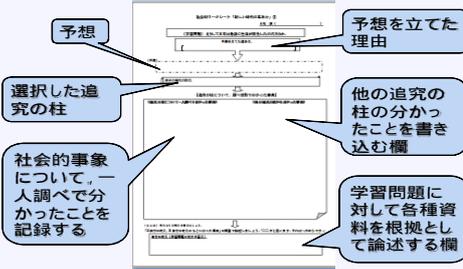
ここでは、ジグソーメソッドやTKJ法（班で話し合いながら情報を項目ごとに分類し、構造化していく活動）などのワークショップの手法を取り入れた小学校社会科第6学年の実践例を紹介する。

- ア 小単元 「新しい時代の幕開け」(8時間)
- イ 目標
- 新しい世の中をつくりあげようとした人物の働きに関心をもち、日本の近代化の様子を意欲的に調べようとする。
 - 【社会的事象への関心・意欲・態度】
 - 明治政府が行った改革の内容と目的を結びつけて考え、それが人々にどのような影響を与えたのかを考えることができる。
 - 【社会的な思考・判断・表現】
 - 明治時代と江戸時代との暮らしの様子を比較して、何がどのように変化し、社会のしくみや人々の考え方とどう関係があるのかを読み取ったり、まとめたりすることができる。
 - 【観察・資料活用の技能】
 - 明治政府が進めた諸改革の内容とそのねらいや影響を、当時の国際関係や社会背景も含めて考えることができる。
 - 【社会的事象についての知識・理解】

過程 主な学習活動と言語活動の充実の工夫 (言語活動の充実の工夫)

- 1 明治時代初めと江戸時代末ごろの日本橋近くの様子の2枚の絵を比べながら気が付いたことを発表する。
- 問題: 2つの絵を比べて、ちがうところをたくさん見つけてみよう。
- 
- <明治時代初め1880年ごろ> <江戸時代末1860年ごろ>
- 2枚の絵を比較し、相違点を読み取る活動を行うことで急激な時代の変化に気付かせ、問題意識をもたせる。「読み取り」(ピクチャーアナリシス)
- 2 わずかな期間に急激な変化が起こったのはなぜか。原因について話し合い、学習問題を立てる。
- 明治時代、社会のしくみや人々の生活の様子が大きく変化したのはなぜだろう。
- 3 学習問題に対する予想を立て、追究の柱を立てる。
- 考えを自由に出させ、情報を分類することで追究の柱を立てさせる。「解釈」(ブレインストーミング、TKJ法)
- 追究の柱1 ペリー来航の目的
 追究の柱2 江戸幕府が倒れた理由
 追究の柱3 使節団の目的
 追究の柱4 明治政府の改革
 追究の柱5 まちの変化

4 資料を使って追究の柱について調べる。一人調べをさせ、ワークシートにまとめさせる。「読み取り」「解釈」



予想

予想を立てた理由

選択した追究の柱

他の追究の柱の分かったことを書き込む欄

社会的事象について、一人調べで分かったことを記録する

学習問題に対して各種資料を根拠として論述する欄

調べる (4時間)

ワークシートにまとめさせる際、まとめ方の手引きを利用させ、追究する上で参考になった資料や自分の考えの根拠を明記できるようにする。

分かった社会的事象を付箋にメモ



第15代将軍の徳川慶喜は、1867年に政権を朝廷に返した。

政府は、五ヶ条の御誓文を発表した。

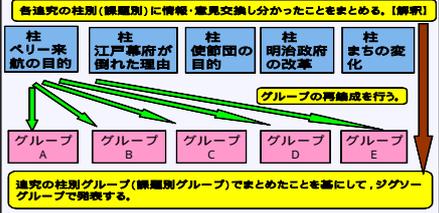
まとめ方の手引きシート

- 私の追究の柱は、 です。
- この追究の柱に対する私の考えは です。
- それは、 という事実から分かりました。
- それは、 から読み取りました。

まとめる (3時間)

5 学習問題を解決するために、調べたことを基に話し合う。同じ追究の柱を調べた子ども同士で意見交換を行なった後、他の追究の柱を調べた子どもたちと話し合わせる。「説明」「解釈」(ジグソーメソッド)

ジグソーメソッド図



各追究の柱別(縦断別)に情報・意見交換し分かったことをまとめる。【解釈】

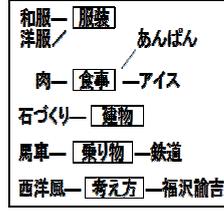
柱1 ペリー来航の目的
 柱2 江戸幕府が倒れた理由
 柱3 使節団の目的
 柱4 明治政府の改革
 柱5 まちの変化

グループの再編成を行う。

グループA B C D E

追究の柱別グループ(縦断別グループ)でまとめたことを基にして、ジグソーグループで発表する。

情報・意見交換を基にイメージマップを作成させ、学習問題に対する自分の考えをまとめさせる。「論述」



和服—洋服
 洋服—洋服
 肉—食事—アイス
 石づくり—建物
 馬車—乗り物—鉄道
 西洋風—考え方—福沢諭吉

ペリーが開国をせまったこと、日本が洋風に変ったことが、関係がありそう。

制度が変わったことと何か関係がありそう。

(イメージマップ)

アメリカのペリーが日本に来て結んだ不平等条約を改正するため、日本は西洋に追いつこうとして急激に変化したのだと思います。そのため、自由民権運動が起こったり、国会が作られたり、文明開化が起こって、人々の暮らしも大きく変わっていったのだと思います。(児童の論述例)

6 学習を振り返り、単元のまとめをする。

始良市立蒲生小学校 泉 宗弘 教諭の実践を基に作成

これまで、思考力・判断力・表現力等を育成する社会科学習指導の工夫について、言語活動の充実という視点から述べてきた。今回の例を一つの参考として、授業改善に取り組んでほしい。

〔参考文献〕
 文部科学省 『小学校学習指導要領解説 社会編』 平成20年8月
 県総合教育センター 『指導資料社会第99号』 平成14年9月
 『新しい社会6上』 東京書籍

(教科教育研修課)

